

GEIGEKI Orchestra Academy for Wind

The 8th Concert

動画サイトやSNSが隆盛なこの時代、もう既にその演奏を直接聴くことの叶わない巨匠から、最も勢いのある現役バリバリの奏者まで、手元のスマートフォン一つで体験できます。そんな時代に、若手演奏家としてデビューするのは一昔前に比べてとてもハードルが上がっていると言わざるを得ないでしょう。

沢山の音楽ファンに演奏を聴いて楽しんでもらうためにはどうしたら良いだろう?

一人の音楽家として、より魅力的な活動を世界に提示するにはどうしたら良いだろう?

この東京芸術劇場のアカデミーでは、その答えとなるヒントが沢山詰まった濃厚な時間を過ごせるようになっています。どのヒントを選択して自分のものにしていくのかはアカデミー生次第。それが彼らの個性になり、そのうち誰も思いつかなかったようなアイディアに溢れた素敵な活動を繰り広げていってくれることでしょう。

彼らの将来が本当に楽しみ!

福川伸陽
ミュージック・アドバイザー



2月8日[火] 19:00開演

卒団生によるショーケース Vol.1



清川大介(トランペット)――

トランペット・オードブル

さまざまな個性の作品を、パーティのオードブルの様にふんだんに盛り込んだプログラム。今回は曲ごとに楽器を変え、計5種類の楽器を用いて演奏します。シューマンの《3つのロマンス》はトランペットでの世界初演となるでしょう。いかつ演技してみたいと企んでいたこの曲を、パートナー開拓をねらいとして思い切って選曲しました。オリジナルと他楽器の作品が入り混じったこの公演で、「清川大介の音楽」をぜひ体感してください。

曲目:R.シューマン:3つのロマンス Op.94 より第2樂章 ほか
共演:秋元一夢(ピアノ)



佐藤悠光(ユーフォニアム)――

20世紀以降のユーフォニアムとチェロ

ユーフォニアムは、楽器の誕生が比較的近年であることから、チェロをはじめとした他の楽器の作品に触れる機会が多くあります。その中でも、ユーフォニアムを通してその音楽的魅力を表現したいという思いから、この企画をつくりました。借り物を模倣するだけでなく自身の言葉で、ユーフォニアムの音色をもってお伝えできればと思います。熱量の高い素晴らしい作品の数々と、強くしなやかに伸びるユーフォニアムの音色をお楽しみください。

曲目:N.ブーランジェ:3つの小品 ほか
共演:佐藤友美(ピアノ)



柳瀬 陸(チューバ)――

If you lived...

管楽器の中でも歴史が浅いチューバ。後期ロマン派に誕生し、その音域や音色により独奏楽器ではなく、オーケストラの最低音を受け持つ合奏楽器として用いられてきた。もし、そんなチューバが誕生する時代まで、あの作曲家達がまだ生きていれば、この楽器にどんな独奏作品を書いていただろう。今回、時代はパロックからロマン派、管楽器の作品やチェロの作品、歌曲を取り上げて、その「もし」の世界を味わっていただきたい。

曲目:F.シュトラウス:主題と変奏 Op.13 ほか
共演:秋元一夢(ピアノ)

芸劇オーケストラ・アカデミー・フォー・ウインド(GOA)

東京芸術劇場が2014年度から実施する、日本のプロフェッショナル管打楽器奏者のレベルアップを目的とした若手演奏家を養成する事業。主に音楽大学を卒業した25名の若手演奏家が在籍しています。GOAでは、本格的なキャリアをスタートする前の大学卒業程度~30歳程度の若手演奏家のため、演奏活動で必須となるアンサンブル能力と個性ある音楽家として自ら発信する自己プロデュース能力の双方の向上を目指し、学びと実践の場を提供します。



2月9日[水] 19:00開演

卒団生によるショーケース Vol.2



伊藤 愛(ピッコロ)――

Piccoliste

フランスにいた5年間の中で、ピッコロという楽器の良さを知りました。表情の細やかさ・音色の豊かさ・オリジナル曲の素晴らしさ…。ピッコロ科に在籍中、ピッコロの色々な魅力を教えてもらった経験から、その良さを自分も伝える側になりたいと今回ピッコロの曲のみのショーケースを企画しました。「フルート奏者が吹くピッコロ」ではなく「Piccoliste=ピッコロ奏者」として演奏します。ピッコロの音色・表情をぜひお楽しみください。

曲目:久保 憲:舞桜園 ほか 共演:片山 栄(ピアノ)



中山泰洋(オーボエ)――

American Oboe Recital

伝説のオーボエ奏者、マルセル・タピュートが提唱した新時代の演奏方法は、アメリカのオーボエ界に独自の体系を築き上げました。響きの少ない澄んだ音色で緻密なコントロールを可能とする「アメリカンスタイル」は、小編成を軸として活動する私にとって、新たな進化の鍵となるはずです。この企画では、アメリカのモダン・ナンバーとともに、アメリカンオーボエの魅力と可能性を探求していきます。

曲目:J.タワー:アイランド・プレリュード ほか
共演:伊藤 愛(フルート), 吉川清香(クラリネット),
金子歩未(ファゴット), 佐藤文香(ホルン), 西村翔太郎(ピアノ)



田北勇希(トロンボーン)――

Cross Sound

オーケストラやジャズなど音楽のあらゆるジャンルにおいて、セクションやアンサンブルでその魅力を發揮する楽器“トロンボーン”。本公演は各奏者の曲に対する様々な思いに彩られながら、プログラムが進行する度に編成が大きくなっています。最後の曲ではジャズとクラシックを融合させたと作曲者が語る《トライセンス》をドラムセットも加わって演奏します。他者と作り上げていくアンサンブルの中で、自分の音楽をどう表現することができるかを突き詰めた演奏をお楽しみください。

曲目:中川英二郎:トライセンス(四重奏版) ほか
共演:代田将也・脇田佑輔(トロンボーン), 藤田恵輔(バストロンボーン),
佐藤けやき(ドラム), 岡田 奏(ピアノ)

2月10日[木] 15:00開演

芸劇オーケストラ・アカデミー 室内楽演奏会



第7回演奏会 ©Hikaru.R

ミュージック・アドバイザーの福川伸陽(ホルン)をはじめとする講師陣とアカデミー生の共演!

アカデミーでは、室内楽レッスンにも力を入れて、より実践的なレッスンを行ってきました。本公演は、その集大成として、アカデミー生が選曲した室内楽曲で構成します。

日本を代表する音楽家とアカデミー生が創り上げるコンサートをお楽しみください。

曲目

- モーツアルト:ピアノと管楽のための五重奏曲 変ホ長調 K.452
- ブランク:六重奏曲
- ドヴァルザーク:管楽セレナード ニ短調 Op.44
- ラヴェル:組曲《マ・メール・ロワ》より 抜特(2台マリンバ版)
- グラズノフ:弦楽五重奏曲 イ長調 Op.39より 第1樂章, 第4樂章 (サクソフォーン五重奏版)
- ベーム:金管六重奏曲 変ホ短調 Op.30
- リチャーズ:高貴なる葡萄酒を讃えて

出演者

- フルート:和田桃子
- オーボエ:中山泰洋・大和田璃奈
- クラリネット:近野千昌・吉川清香
- ファゴット:長哲也(講師)・金子歩未・陶山咲希・山田知史(贊助)
- サクソフォーン:海老原美保・小荒井千里・田嶋玲奈・平井千絵・宮楠菜穂
- ホルン:福川伸陽(講師)・川崎栄里・佐藤文香
- トランペット:佐藤友紀(講師)・清川大介・井上優佳・丸山菜津紀(贊助)
- トロンボーン:青木昂(講師)・田北勇希・代田将也・大関一成(贊助)
- ユーフォニアム:佐藤悠貴
- チューバ:柳瀬 陸
- マリンバ:尾形賢一・森山拓哉
- チェロ:伊藤悠貴(講師)
- ピアノ:岡田 奏(講師) ほか